

Nitto

Innovation for Customers

第157期 第2四半期のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日



2021年度上半期を終えて

2021年度上半期における経済環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するワクチン普及により経済活動の再開が進んだ一方で、変異株の拡大、半導体材料の不足や原材料価格の高騰などが見られ、先行きの不透明感は依然として継続しています。

このような環境の中、当社グループの主要な市場においては、ノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムが引き続き堅調に推移し、スマートフォン用の製品は、OLED用光学フィルムや組み立て用部材並びに高精度基板の需要が伸長しました。また、自動車材料及び一般工業部材のCOVID-19影響からの回復や半導体関連部材の需要の増加がみられました。核酸医薬市場においては、COVID-19のワクチン開発が急ピッチで進んでおり、当社グループにおける受託製造及び関連部材の需要が高まっています。加えて、核酸医薬の創薬においてライセンス契約に基づくマイルストーンを達成しました。

以上の結果、2021年度上半期の業績は、売上収益は前年同期比19.1%増の4,259億円、営業利益は71.8%増の728億円となりました。

また、事業環境の変化を受けて、今後の需要動向及び為替条件の見直しを行い、2022年3月期の通期業績予想を売上収益8,450億円、営業利益1,260億円へと修正しました。

中期経営計画「Nitto Beyond 2023」

Nittoは、共通の価値観である経営理念、強みの源泉であるニッチトップ戦略、三新活動などを生かし、数々のイノベーションを起こしてきました。これらのNittoのDNAに加え、これまで以上に地球環境や、人々の快適な暮らしに貢献していくことで、さらなる飛躍を目指していきます。Nittoは目指す姿や達成すべき具体的な目標を示すべく、中期経営計画「Nitto Beyond 2023」を策定し、経営目標として、財務目標に加え、非財務目標を設定しました。

財務目標では、2023年度に売上高9,200億円、営業利益1,400億円の過去最高業績を目指します。非財務目標では、Nittoグループの競争力の源泉である新製品比率の維持や、脱炭素社会を見据えたCO₂排出量の削減、ダイバーシティとして女性管理職比率の向上を推進します。内容については次のページでご説明します。

利益還元について

Nittoグループは、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを基本にしています。一方、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるために、内部留保を使って研究・開発及び生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも必要不可欠です。株主の皆様に対する配当金につきましては、将来の投資機会、財務状況、資本効率、利益水準、及び配当性向等を総合的に勘案して実施することとしています。また、内部留保についても定期的に水準を確認し、総合的に勘案して使途を定めていきます。2021年度の年間配当金は、1株につき年間220円を予定しております。なお、中間配当金は110円とさせていただきます。

代表取締役 取締役社長
CEO・COO

高崎 秀雄



中期経営計画 Nitto Beyond 2023

Nitto Beyond 2023
コンセプト

Nittoグループは、2030年にありたい姿を描き、それを実現するための最初の3年間（2021年度から2023年度）を実行期間とする、中期経営計画「Nitto Beyond 2023」を策定しました。
「Nitto Beyond 2023」は、外部環境の影響を受けにくい強靱な企業体質の構築を目指し、その実現のために、Beyondへの想いととも、3つの最重要項目「ESG経営の推進」「イノベーションの加速」「経営インフラの強化」を設定しました。サステナビリティに取り組む姿勢を実践し、これまで以上に人々の健やかな暮らしや持続可能な地球環境に貢献していくことで、更なる飛躍を目指します。

2030年に
ありたい姿

『Nittoは、技術で未来を創造し、驚きと感動を与え続け、
高性能材料メーカーとして持続可能な環境・社会を実現する』

Nitto Beyond 2023

外部環境の影響を受けにくい強靱な企業体質の構築

Beyond 1

ESG経営の推進
10年の計で

Beyond 2

イノベーションの加速
事業の枠を越えて

Beyond 3

経営インフラの強化
未来を見据えて

Nittoは、地球環境、人類と社会をお客様と捉え、持続可能な未来と幸福のためにチャレンジし続けます

サステナビリティに取り組む姿勢

経営目標

2023年度に、売上高9,200億円、営業利益1,400億円の過去最高業績を目指します。
Nittoグループの競争力の源泉である新製品比率の維持や、脱炭素社会を見据えたCO₂排出量の削減、ダイバーシティとして女性管理職比率の向上も推進します。

財務目標

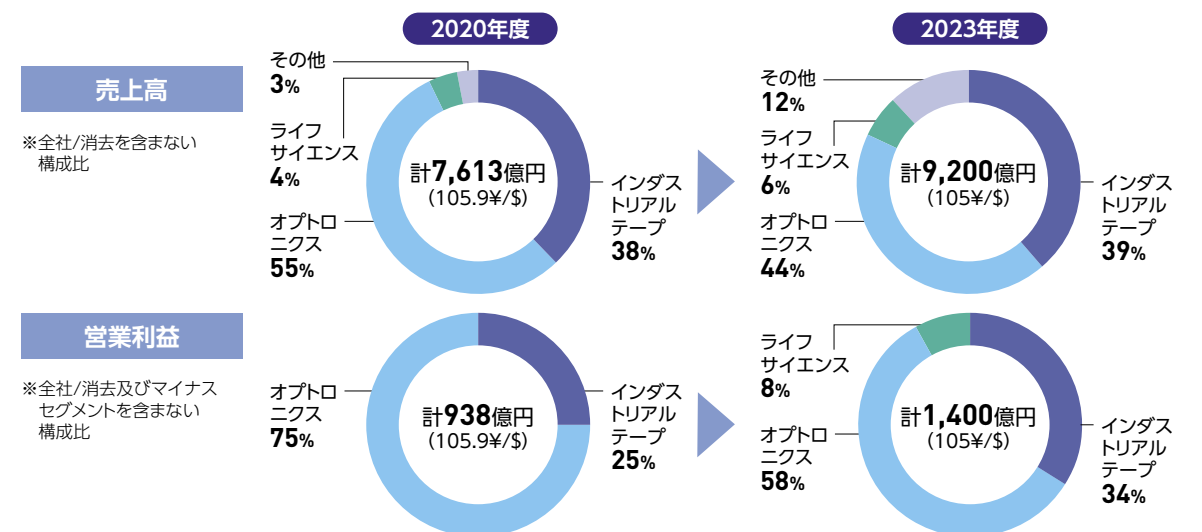
	2020年度 (為替レート¥105.9/\$)	2023年度 (為替レート¥105/\$)
売上高	7,613億円	9,200億円
営業利益	938億円	1,400億円
営業利益率	12%	15%
ROE	10%	12%

非財務目標

	2023年度
新製品比率 ※1	35%以上の継続 ※1 上市後3年半以内の製品の全売上高に占める割合
CO ₂ 排出量 (20年度比)	①排出総量 25kton削減 (685→660kton) ②原単位※2 20%低減 (0.90→0.72kton/B¥) ※2 売上高(B¥)における二酸化炭素の排出量を示す指標
女性管理職 比率	グローバル 17% → 21%

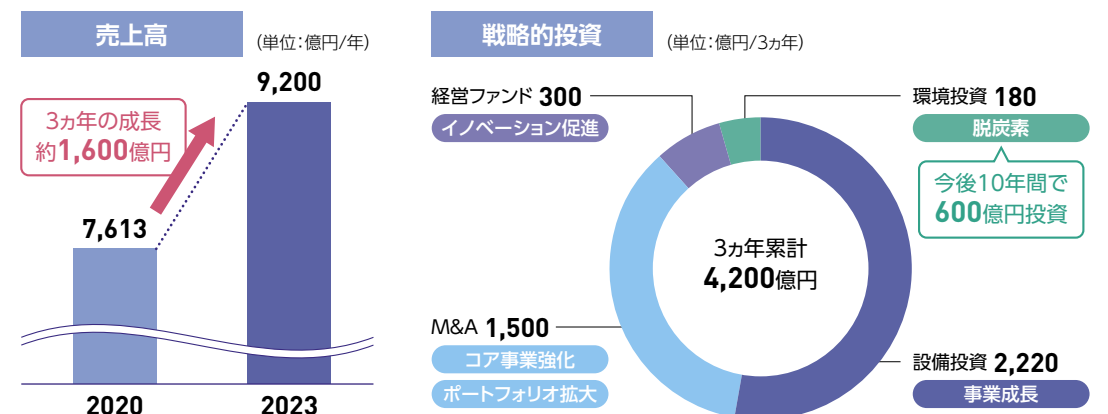
事業
ポートフォリオ
の進化

売上高、営業利益ともに、インダストリアルテープ、及びライフサイエンスの構成比率を向上させ、よりバランスのとれた事業ポートフォリオを目指します。
※事業ポートフォリオは有価証券報告書の開示セグメントに基づき記載しています。



事業成長と
投資の考え方

2020年度の売上高をベースとし、既存事業によるオーガニック（連続）成長、及びM&A等のインオーガニック（非連続）の事業成長を促し、3か年で+1,600億円の売上成長を目指します。

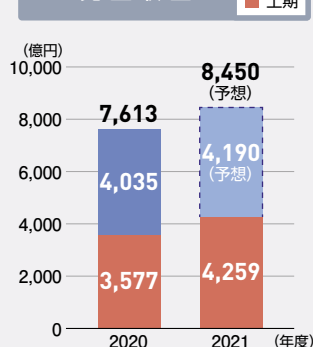


Nittoの
重点分野

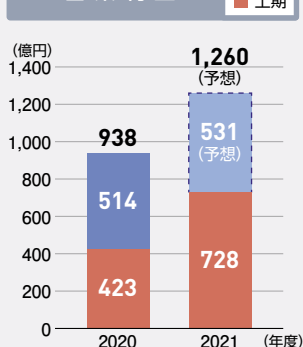
前中期経営計画「Jitsugen-2020」で重点分野として定め、経営資源を戦略的に投入してきた3分野で、市場ニーズに素早く対応し、Nittoの強みを生かした新製品を早期に投入することにより、事業成長を目指します。「ヒューマンライフ」については、前中期経営計画で重点3分野のひとつとして定めた「ライフサイエンス」から定義を新たにし、従来の医薬品や医療部材による貢献に加え、地球環境との共生、人々の暮らしや生命に広く貢献する製品開発を加速していきます。



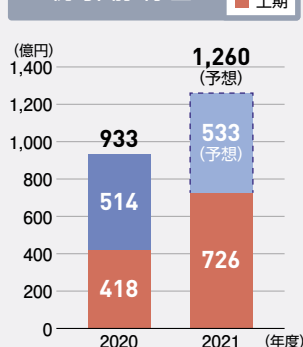
売上収益



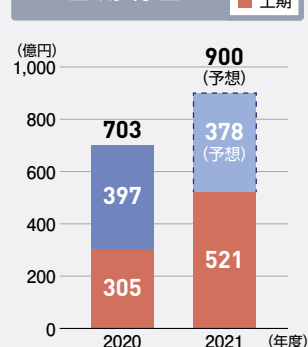
営業利益



税引前利益



当期利益



海外売上収益比率 ※1

79.9%

海外売上収益 3,402億円
国内売上収益 857億円

※1 2021年度上半期連結売上収益に占める海外での売上収益の割合

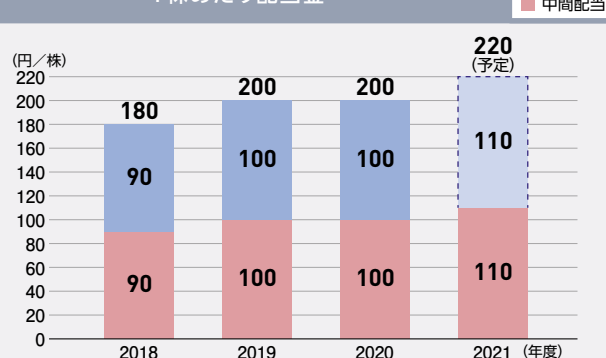
自己資本比率 ※2

74.1%

自己資本 7,567億円
総資産 10,207億円

※2 2021年度上半期(9月末時点)の総資産に占める自己資本の割合

1株あたり配当金



ポイント

- 1 核酸受託製造におけるCOVID-19ワクチンに使用される核酸アジュバント(核酸免疫補強材)の需要が拡大しました。
- 2 プリント回路におけるハイエンドスマートフォン向け高精度基板及びハードディスクドライブ向けデータセンター用途が伸長しました。

TOPICS トピックス

Nitto、アステラス製薬、エムハート
心電計による検査サービスで提携

Nitto、アステラス製薬株式会社及び株式会社エムハートは、心電計による検査サービスに関する基本合意書を9月1日に締結しました。Nittoは使い切りホルター心電計「EG Holter」を開発・製造し、アステラス製薬が日本において独占販売を行うことを検討していきます。なお、エムハートは製造販売業者の役割を担うとともに、EG Holterによって得られたデータをホルタ解析装置用プログラム「マイホルターⅡ」で解析するサービスを提供します。

EG Holterは、使い切りのため、メンテナンスが不要で、衛生的です。本体は厚さ6mm、重さ11gと小型かつコードレスで付け外しが簡便なうえに、防水性能(IPX4)を備えており、より快適に装着していただけます。

患者さんは計測後、EG Holterを専用封筒で返却することで、医療機関へ出向く必要がなくなり、医療機関はマイホルターⅡを経由してオンラインで検査結果を入手でき、双方の負担を軽減できます。

心疾患を始めとする循環器系疾患の中でも、心臓にできた血栓が脳や頸部の動脈に詰まることによって起こる心原性脳塞栓症は死

亡率が高く(2割)、重い後遺症が残るケースが多い(4割)とされています。この心原性脳塞栓症の原因の4分の3とされるのが心房細動で、早期発見は極めて重要です。

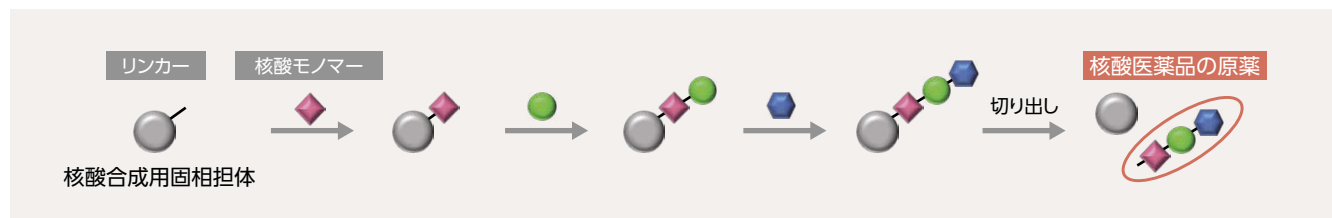
Nitto、アステラス製薬及びエムハートは、EG Holterによる利便性の高い心電図検査と、マイホルターⅡによる効率的かつ高精度なデータ解析を組み合わせたトータルソリューションを提供することによって、心房細動等の早期発見、適切な治療につなげることで、健康寿命延伸への貢献を目指します。



核酸合成用 固相担体 「NittoPhase™ HL」

核酸合成用固相担体とは核酸医薬品の化学合成に用いられる足場材料です。

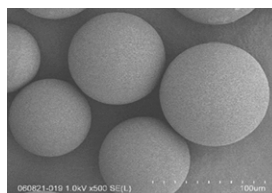
担体に結合したリンカーを起点として目的配列の順に合成を行い、最後に核酸医薬品の原薬が担体から切り離されます。



「NittoPhase™ HL」は、Nittoの高分子合成技術と粒子設計技術を融合して生まれた核酸合成用固相担体であり、核酸合成における高純度と高収量を両立した製品です。多種のリンカーの中から最適なものを選択し担持することができるため、幅広い核酸医薬品の合成に対応しています。

病気の原因となる遺伝子の発現に直接作用する核酸医薬品の開発は活発化しておりNittoPhase™ HLの担う役割は大きくなってきております。

今後拡大が見込まれている核酸医薬市場において、Nittoは製造能力を増強し、NittoPhase™ HL、核酸原薬の受託製造、製剤化など、核酸医薬品製造の上流から下流まで、ワンストップサービスで核酸医薬業界をサポートし、人々の健康と安心な社会に貢献していきます。

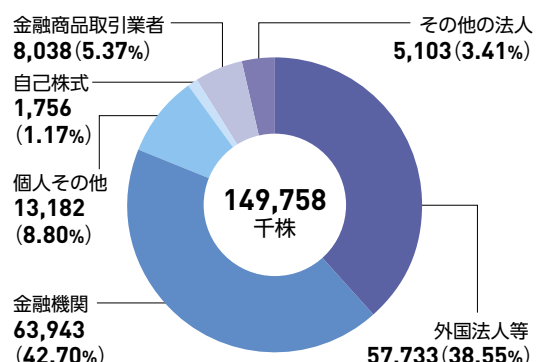


■ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行済株式の総数 149,758千株
株主数 31,212名

所有者別分布状況

(単位：千株)



■ 表紙写真：東北事業所

■ 株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto公式SNSでも情報を発信しております。



Nitto 日東電工株式会社
Innovation for Customers

〒530-0011
大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA 33階



UD FONT 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。